

中央大学杉並高等学校 学校通信



杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2021年度第4号(通算103号)

<http://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

57期生 卒業おめでとう!

2022年3月9日(水)、第57回卒業式が本校第一体育館にて行われました。10時開式、卒業生・教職員・来賓・保護者の方々(一家庭につき1名が入場可、1名は教室でライブ配信視聴)が参列。57期生男子164名、女子189名、計353名の名が呼ばれ、清々しい返事が響き渡りました。中杉卒業生は18,173名となりました。



卒業式次第

開式の辞

卒業証書授与

各種賞状授与

記念品贈呈

学校長式辞

校長

祝辞

中央大学学長

河合

久

卒業生代表挨拶

三年十組

O・Y

校歌静聴

閉式の辞



自分の幸せに向き合って

中央大学杉並高等学校長 大田 美和

五七期の生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さんは、三年間の高校生活を振り返って、嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、様々な思い出で胸が一杯であることと思います。

私は五七期の皆さんと一緒に二〇一九年四月に中央大学杉並高等学校に校長として入学しました。入学式の式辞で「サウンドオブミュージック」の「すべての山に上れ」の一節を歌い、「大学の附属高校に入学したのだから、いろいろなことに挑戦してほしい」と激励しました。そのときには、それは皆さんすべてが望めば簡単にできることであって、学校はそのために制度を整備したり適切なアドバイスをしたりすればよいと私は思っていました。しかし、皆さんにとって、普通の学校生活を送ることも容易ではありませんでした。一年生の三学期、二〇二〇年の二月から今日二〇二二年の三月までに、新型コロナウイルスの感染拡大によって日常生活や学校生活にどのような変化が起こったのか、「後援会だより」で九組担任の駒ヶ嶺泰暁先生が時系列で書いて下さっています。振り返ってみて下さい。

一番残念だったのは、台湾研修旅行の代替案として計画した関西研修旅行を実施直前に中止せざるをえなかったことです。美しい琵琶湖の風景、様々な時代の海外との文化交流の跡を残すいろいろな仏像など、皆さんと一緒に歩いて見てみたかったです。何とか実施することはできなかったかとその後もし思いましたが、やはりあの状況下、政府による二度目の緊急事態宣言の下で研修旅行を強行することはできませんでした。

それでも、本校では他の高校に比べて、多くの教育活動を実施することができました。今月初めの卒業芸術鑑賞教室、劇団四季の「アナと雪の女王」、素晴らしかったですね。私はあのミュージカルを

エルサ、アナ、ハンス、クリストフという若者たちが、迷いながら前に進んでいく物語として受け止めました。周りの大人たちが若者たちの幸せを願って行動しながら、古い価値観で物を見ているために、空回りして若者をうまく支援できないところも、大人の一人として見ていて興味深かったです。

このように本校の教育活動が継続できたことは、ご家庭のご理解と教職員の皆様の協力があつたおかげです。心より感謝申し上げます。また、本校は附属学校として、学校法人中央大学の危機管理体制の下にあります。附属の中学校高等学校の教育活動については、学校法人中央大学は各校の自主的な判断に任せて下さいました。本日お越し下さった学長と常任理事にあらためて感謝申し上げます。さて、皆さんはほとんどの人が四月から大学生になります。大学に入学したら、これをやりたいという目標を立てましたか？ 中大杉並高校に入学して、中央大学に進学するということは、自分で決めたというよりも、親に勧められて決めたことだという人も、皆さんの中にはもしかしたら多いのかもしれませんが、いいですか。高校を卒業したら、そこから先は自分の人生を生きて下さい。

私は中央大学の教員でもあるので、学生から進路についてアドバイスを求められることがあります。少し前に私が授業中に、「公務員になって日本を変えよう！」と言ったことがあります。この呼びかけに心惹かれて、地方公務員と国家公務員の両方の試験に合格した学生が相談に来ました。自分の両親は地方公務員で、地方公務員の生活をよく知っているし、結婚して出産した後も県内が職場なら支援しやすい。しかし、国家公務員は未知の世界だから心配だ。国家公務員になるのはあきらめて地方公務員になってほしいと言われたそうです。このような相談を受けたとき、私は必ず「あなたはどうしたいの？」と聞くことにしています。この学生は、「親の心配する気持ちはわかるけど、親が知らない世界だからなおさら挑戦してみたい」と答えて

ました。今頃どうしているでしょうか。大田先生が止めてくれればこんなに苦労しなかったのにと思っているかもしれません。しかし、自分で選んだことですからそんなに後悔はしていないのではないかと思います。

日本で精神科医になったイタリア人のパントー・フランチェスコさんは、「自分の幸せ、いい意味での自分のエゴイズムに向き合ってほしい」と話しています。本音と建て前、本心を隠して世間の期待どおりに行動していることが日本人の心々を深刻に蝕んでいるのです。イタリアのシチリア島で生まれ育ったフランチェスコさんは、サッカーには興味がなく、日本のアニメ「セーラーMoon」が大好きというちょっと変わった男の子でしたが、「自分の良さや自分のユニークさを信じて」というお母さんの支えもあつて、自分の好きなものを隠したり諦めたりすることなく、成長しました。その後、フランチェスコさんは子ども頃頃から興味を持った日本に留学して、同調圧力や「勝ち組」「負け組」という言葉に驚きました。そして日本社会で生きる人たちがもつと幸せを感じて生きられるようにするために、臨床治療をするだけではなく、治療に使えるゲームソフトの開発にも取り組んでいます。この精神科医のパントー・フランチェスコさんのことは、インターネット上にインタビュー記事や動画が出ていますから、ぜひアクセスしてみてください。

皆さんは中杉で論理的に物事を考え、表現する力を鍛え、仲間と協力して目標を達成する喜びを体験してきました。緑苑祭も体育祭も音楽祭も、短期間の準備で素晴らしい成果をあげる皆さんの力に私はいつも感心してきました。しかし、もう少し不器用であつてもいいし、失敗をしてもいいと思います。大学に入学したら、高校時代に自信がなくて取り組めなかつたことや、新しいことにぜひチャレンジしてみてください。

最後に、私が若い頃に初めて外国に出かけた時にかかれた英語のメッセージを、はなむけに贈ります。

Keep open-minded. Best Wishes for your future.

偏見や思い込みにとらわれず、いつもオープンマインドでいて下さい。未来を変えるのはあなたたちです。あなたたちの未来に幸いあれ。

祝辞

中央大学学長 河合 久



名門、中央大学杉並高等学校の卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

皆さんの高校生活の大半が、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、これまでに経験のない困難な修学環境の中にあつた。授業、学校行事、部活動、クラスメートとの交流など、当たり前に行われていたことが制約され、さぞかし不自由な思いをされたことでしょう。

そのような中、本日皆さんが手にされた卒業証書は、所定の課程を終えられた証というだけでなく、同時に「中杉」の生徒として、パンデミックの中にあつても、学業や課外活動などに力いっぱい励んできたことの証でもあり、ことさら特別な卒業証書でもあります。

これまでの皆さんの努力を称え、心から敬意を表したいと思います。

また、卒業生の皆さんに対し、幼少から今日に至るまで惜しみない支援と応援を送ってこられましたご家族、ご関係の方々には、そのご支援に敬意を表しますとともに、我がことのように本日をお喜びのことと拝察いたします。

さらに、卒業生たちをこれまで熱心に指導してこられた本校の先生方、その勉学や生活を支援されてきた職員の方々にも、この場をお借りし、あらためてお祝いとお礼を申し上げます。

そして、後援会の皆さまにおかれましても、日頃より本校と本学に対しまして多大のご理解・ご支援を賜っております。

ことに、この場を借りまして心より厚く御礼を申し上げます。さて、中央大学は、いよいよ法学部の文京区茗荷谷キャンパス移転の前年となりました。現在、中央大学は、「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」の下、来年二〇二三年には、法学部及び大学院法学研究科が茗荷谷キャンパスへ移転し、同じく法務研究科ならびに戦略経営研究科が駿河台キャンパスへの移転を控え、本学の将来を左右する大きな改革期の真只中にあります。

このような改革期に、来月から大学の発展に活力を与えてくださる「基幹学生」として、皆さんを迎えることに大変喜びを感じているところです。

四月からの新年度において、中央大学は、新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種に伴う社会情勢の変化、政府から発出される様々な措置等の動向を踏まえつつ、教育効果を十分に考慮した上で、面接授業と遠隔授業を効果的に組み合わせながら、各キャンパスに皆さんをお迎えし、対面での学修活動やさまざまな学生交流をはじめとする充実したキャンパスライフを提供できるよう努力することで、大学が果たすべき社会的な責任を全うしてまいりたいと考えております。皆さんが新たなスタートを切るそれぞれの学部においては、現在、新年度を迎える準備をしております。

卒業生の皆さんの中には、中央大学以外の大学に進まれる方もいます。その選択はご自身の将来を真剣に見据えた勇気ある決断であり、また、難関入試を突破するまでの努力が報われた結果であり、敬意を表します。

すべての卒業生の皆さんには、これまで皆さんを支えてくれた方々への感謝を忘れずに、生徒から学生へとさらなる成長を遂げていく中で、社会に出る最後の四年間を充実した日々にしていただきたいと願っております。

希望に満ちて新たな旅立ちをされる皆さんが、大志を抱き、心身ともに健やかで実り多き人生を歩まれ、これからの日本、世界を支える力として活躍されることを願います。そして、中央大学杉並高等学校で学んだことに誇りと自信を持ち、

これから出会うさまざまな課題に正面から向き合い、明るい未来を切り拓いていく青年として成長されますことを祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生代表挨拶

三年十組

O・Y



いつしか吹き荒んだ秩父おろしも止み、この武蔵野の大地も萌黄色に色付いて参りました。新型コロナウイルスの感染が再拡大しているなか、五十七期生が一堂に会して卒業式を迎えられたことを大変嬉しく思います。ご来賓の皆様、教職員の方々、そして保護者の皆様に、五十七期生を代表して厚く御礼申し上げます。

三年前、この同じ場所で入学式を迎えたばかりと思っていましたが、いざ卒業の日を迎えてみると、この三年間は飛ぶように過ぎてしまったと寂しささえ感じられます。新しい中大杉並高校の制服に身を包み、「ついに待ち望んだ高校生活が始まるのだ」と嬉しい気持ちでいっぱいであったことが、昨日のことに思い出されます。

私は入学する前から、「中杉には厳しい受験を勝ち抜いてきた者が集うために、自分はその中に埋もれてしまうのではないか」という不安を抱えていました。それゆえ入学してからは周りに置いていかれないようにと焦るばかりで、勉学に過度にとらわれてしまい、なかなか友人関係を広げられずにいました。しかし、ペアワークの多い授業やオリエンテーション合宿をはじめ、球技大会や体育祭と行事を重ねるうち、自然と交流が生まれたくさんの友人に恵まれました。

部活動においては、全く経験のない状態から柔道に取組みました。初心者からの挑戦でありましたが、柔道初段

を取得し、黒帯を締めることができました。未知のものに挑戦し、長い時間をかけて技術を体得するという貴重な経験ができました。それだけでなく、学校生活の多くの時間を過ごし、苦楽を共にしてくれる親友とも出会うことができました。

今もなお感染拡大を続ける新型コロナウイルスは、私達の高校生活を一変させた、まさしく突然突き付けられた不条理というべきものでした。この新型コロナウイルスは、殆どの行事を、特に三年間のなかで最大の行事である研修旅行さえ中止に追い込んでしまったのです。「コロナのせいでも何でもできない」、私は初めそう強く考えていました。友人たちともそんな話を一体どれくらいしてきたのか分かりません。ですが、まだこの先どうなるか分からないコロナ禍の最中を生きる私達は、「今の状況でできることはなにか」、そう捉え直し、このコロナ禍と付き合っていくかなければならないのだと思います。そう考え実行できたのが、つい先日、二月二十四日に実施することができたスポーツ大会・卒業前夜祭でした。生徒主催でゼロから創っていくという段階から始まったこの企画、少人数の有志が委員となり、知恵を絞り出しながら進めていきました。本番直前にさらなる感染拡大によって規模の縮小を余儀なくされたり、企画してきたものをやむを得ず無くしたりなどということもありました。ですが、委員たちの冷静な判断や、臨機応変な対応に支えられ、当日、無事に開催することができました。感染拡大が続くなかで、何もできない、ではなく、何ができるかを考え実現するという、これから必要になる姿勢を最後に「こ中杉で学ぶことができました。」

私達は中杉を卒業しほとんどの生徒は大学へ進むことで、自ら考え、自ら決定する機会が増えるだけでなく、より責任ある対応が求められるようにもなります。もう「学生だから」という言い訳は通用しません。四月からは民法改正により成人年齢が十八歳に引き下げられ、私達五十七期生は四月一日から全員が成人となります。もう自らの判断によって人生を

選択していかねばならなくなるのです。しかしそれは選択の幅、自由度が格段に広がるということでもあります。これまで手を出せなかったことに挑戦できる機会が増えるのです。自分の進む道の先に何が待ち受けているのかは分かりません。しかし、自分の信念、興味関心に従い、自分の選択に自信と責任を持って、臆せず様々なことに挑戦していきま

す。
今日をもって私達五十七期生はこの中杉を卒業し、それぞれの道へと歩み始めます。電車に揺られ、何百回と往復した駅から中杉までの道、他愛のない話をして過ごした休み時間、友人と共に苦しみながら乗り越えた定期試験。コロナのせいで、思い描いた通りにはならなかったかも知れないけれど、たくさんの思い出が詰まった高校生活がもう戻ってこないと考えると、ただただ寂しい限りです。しかし、私達にはこれからの未来を創っていく役目があります。そんな私達は少子高齢化、激動する国際社会、そしてパンデミックと時代の大転換期を生きています。そのなかで、明確な目標を持ち、それに向かって邁進する者もいれば、ある者は目標が定まらず苦悩することがあるかもしれません。またこの先大きな壁に当たったり、挫折を経験したりすることもあるでしょう。しかし、そんなときはここ中杉で養った真の学力を糧に、ここで手にした成長をもとにして、果敢に前へと突き進んでいきます。今の激動する世界のなかで、パラダイムシフトの旗手として活躍できるようにこれからも一層努力し続けて参ります。

最後になりましたが、こうして世界規模で感染症が大流行を見せているなか、私達を支え続けて下さった先生方、事務員の皆様に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。いつも側にいてくれた親友、たくさんの楽しい時間を本当にありがとうございます。これからもよろしく。そしてお父さん、お母さん、この生意気な、手のかかる息子は、今日高校を卒

業いたします。

中杉を受験すると決めたとき、反対を押し切って柔道部に入ろうとしたとき、中杉に入ってから進路の決断をしたとき。いつも最後は私の決断を尊重して、背中を押してくれました。まだまだ手をかけるかもしれないけれど、次の四年で大きく、立派に成長してみせます。これからもよろしくお願ひします。

中央大学杉並高等学校
校の益々の御発展と、
ご臨席賜りました皆様
のご活躍とご健勝を祈
念致しまして、卒業生
代表の挨拶とさせていただきます。



卒業記念品を寄贈いただきました

57期生卒業記念品として、各教室に
配備される「防災リュック」、トイレの
全個室に置かれる「防災バック」を寄贈
いただきました。中には衛生用品や三角
巾着、手当の用具が
入っています。

57期の皆さん、
ありがとうございます。
大切に使い
ます。



中杉生の活躍

【第68回不器男忌俳句大会】

特選:3年 S・H「秋服を買ってスキップストリート」

入選:2年 K・Y「牡丹雪頭の上に居候」

3年 N・S「白靴の心蹴り上げ軽げなる」

【第15回虚子生誕記念俳句祭】

審査員奨励賞・水田むつみ特選:3年 N・S「髪ゴムがとけて祭の後半戦」

【第39回全国児童生徒俳句大会】

入選:2年 A・K「ぼたん雪君がもとも降るかしら」

3年 S・H「祖母からの荷物にキラリお盆玉」

【第22回三木市俳句まつり】

奨励賞:1年 N・A「息切れの君とマスクと運動会」

【第30回黎明俳壇】

ユーモア賞 1年 N・A「規格外「つ」や「し」の混じる胡瓜かな」

【観泉寺奨励賞】

〈学業部門〉 3年生2名

〈体育部門〉 ボート部

主な実績:全国高等学校総合体育大会 6位入賞

3年生5名

〈文化部門〉 模擬裁判チーム

主な実績:第2回オンライン模擬裁判選手権(全国)優勝

3年生2名、2年生11名、1年生4名

〈その他の部門〉 物理部

主な実績:足踏み式消毒スタンド 杉並区内に寄贈・設置

3年生5名、2年生1名、1年生7名

【SDGs Quest みらい甲子園首都圏大会】ファイナル進出

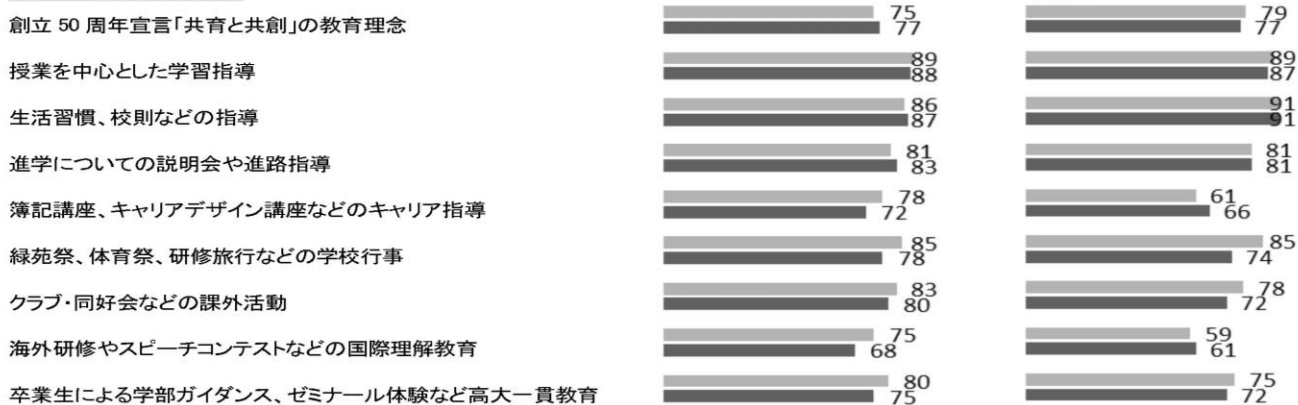
2年生グローバルプロジェクトAチーム 6名



学校評価 アンケート結果報告

2021年11月に実施した「学校評価」のアンケート結果がまとまりました。回答数は生徒767名、保護者783名でした。ご協力ありがとうございました。選択肢(満足できる・やや満足できる・あまり満足できない・満足できない・わからない)のうち、「満足できる」「やや満足できる」という回答の割合を「満足度」として前回(2020年度)の結果と並べて示しました。■が今回、■が前回の満足度です。今回の回答を見ると、多くの項目において80%前後あるいはそれ以上の満足度が示されています。今年度も、本校の教育活動に一定の評価を得られていると考えられます。従来から問題点を多く指摘されていた施設・設備については評価が上がっています。キャリア指導や国際理解教育については、十分なプログラムの実践ができなかったこともあり、低い評価となっています。今後とも、いただいたご意見を参考に計画を立てて参りたいと存じます。

本校の教育活動について



本校の教育環境について



本校の教育管理について



本校の教職員について



高校入学後の意識の変化について



総合



今年度特別に、学校のコロナ対応について尋ねた項目について

	生徒	保護者
①現在の「短縮の通常授業」に自分自身は毎回積極的に参加している(在校生のみに質問)	93 %	
②コロナ情勢が不安定であっても学校は可能な範囲で授業を行い、満足している	94 %	95 %
③コロナ情勢が不安定であっても学校は可能な範囲で学校行事(文化祭など)を行い、満足している	87 %	92 %
④コロナ情勢が不安定であっても学校は可能な範囲で部活動を行い、満足している	86 %	85 %
⑤コロナ情勢が不安定であっても自分(生徒)の体調は心身ともに良い	90 %	95 %

2021年度 学校評価アンケート 回答者数

	1年	2年	3年	男	女	合計
生徒	284	247	236	332	421	767
保護者	284	255	244	347	433	783

音楽祭

感染対策を最大限行いつつ、1月29日(土)に音楽祭を実施いたしました。歌唱・楽器の吹奏以外の方法で音楽を生み出すというテーマに沿い、工夫を凝らした様々なパフォーマンスが繰り広げられました。各学年の結果と、「1年生部門」で富澤先生(芸術科・音楽担当)が述べた講評をここに掲載いたします。

コロナの感染が広がる中、中杉の音楽祭が、学年ごとという形にはなりませんが無事に開催することができました。この日を迎えられたのも、生徒の皆さんの一人一人がお互いよく協力し、常に感染防止対策を徹底しながら慎重に準備・練習を進めてこられたからだだと思います。役割をしっかりと果たしてくれた音楽祭企画委員・実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、今年の音楽祭はどうか、どのようにしたら無事に開催できるか、検討に検討を重ねて、今日までの道筋を示してくださった先生方、中心となられた土井先生、家本先生をはじめ生徒部の先生方、各学年の先生方に、心より感謝と労いの気持ちをお伝えしたいと思います。

コロナ対策のため、今回は身体や楽器あるいは道具を使ったリズムアンサンブル・パフォーマンスを、あなた達が一から創り上げるということになりました。前例が無く、おそらく初めは無理難題だと感じた人もいたことでしょう。

ところで「音楽」祭なので1つ質問をしますが、「音楽」の三大要素は何でしょうか。中学で皆さん習ってきたのではないのでしょうか？

「音楽」は音によって作られるものですが、実は、ある3つの要素が欠かせません。それは、メロディ、ハーモニー、そしてリズムです。これら音楽の3大要素は音楽の基本なのですが、今回、皆さんはこの中の『リズム』を様々な形に生み出し、それを組み合わせたり変化させたりし、最終的に今日の発表のような音楽的・芸術的表現を完成させることができたわけです。

今日私が発表を聴いて一番強く感じたことは、どのクラスも無限の可能性に挑戦しつつ自然に生き生きと多彩なリズムを表現するという、主体的な活動を成し遂げたことに対する驚きと感動です。

音源に使う曲、使う道具、音の鳴らし方、構成、入退場なども含めた動き、振り付けなどダンスの要素、ずいぶん迷ったり悩んだり試行錯誤したことでしょう。観ているほうとしては、次にどんな音やリズムの組み合わせが出てくるんだろう？とか、この道具をこんなふうに使うとはよくアイデアが閃いたなあとか、動きがきれいに揃っていて何度も何度も練習したんだろうな、とか、感心しきりでした。1回ずつしか観られないのがもったいない。全クラスアンコールして、もう1回観たいです。

こんなに観応え聴き応えのあるパフォーマンスが完成したのは、何よりもあなた方がクラスの仲間同士で支え合えたから出来たことだと思います。人前で何か演じるのは勇気がいるし緊張もします。失敗することだって人間だから必ずあります。むしろあるのが普通です。でも、仲間も一緒にいるからやり切れる、頑張れる、という意識はきっと皆さんの中に常にあったことでしょう。これこそチームワークを発揮するということです。

音楽をどういう形で表現することは1人でも出来ますが、人数が多ければより楽しい、多くなればなるほど可能性が広がってワクワクしてくる。そういった共同作業の達成感を、音楽はもちろん、それ以外の分野でもこれからいろいろな場で味わいながら、ますます豊かな表現力や創造力を身に付けていてもらいたいと思います。皆さん本当にお疲れ様でした。(2022年1月29日 富澤教諭による講評)



♪1年生部門♪

副校長賞 1年6組

「We will Rock You, RPG」

学年主任賞 1年1組

「グッバイ宣言、春泥棒、Mela!」

芸術科大賞(美術クラス) 1年8組

「じょいふる」

アイデア大賞・芸術科大賞(音楽クラス)

1年5組 「Shape of You」他

スケール大賞 1年2組

「Another Day of Sun」他

中杉大賞 1年3組

「Under the Sea」他

♪2年生部門♪

教頭賞 2年4組

「ルパン三世のテーマ」

学年主任賞 2年7組

「小さな恋のうた」

アイデア大賞・スケール大賞・中杉大賞

2年2組 「マリオ音楽メドレー」他

♪3年生部門♪

校長賞 3年5組

「Circle of Life」他

学年主任賞 3年7組

「情熱大陸、銀河鉄道999」

アイデア大賞・スケール大賞・中杉大賞

3年8組 「うまぴょい伝説、ウマ娘」

3学期行事報告

それぞれの学年ブログ(57・58・59期)でも詳細な報告を行っています。どうぞご覧ください。

2学年研修旅行(1月10～13日):「防災・減災と地方創生」をテーマに、阪神淡路方面を訪れました。

附属4校合同スピーチコンテスト(1月15日)、合同研究発表会(2月19日):オンライン実施。互いの発表を聴き合いました。

3年生3学期イベント・日帰り遠足(2月4日)、スポーツイベント&卒業前夜祭(2月24日):卒業準備委員が企画し、楽しみました。

オンライン・サイエンスレクチャー(2月5日):有志12名が参加。東大と能代市が連携した事業の取り組みを学びました。

PBL研究発表会(2月16日):3年生の優秀論文発表、1年生のビジネスプラン発表、2年生のプロジェクト発表を行いました。

退職される教員より

今年度を持ちまして中杉を離れる外国語科・菅井恵子教諭より、ご挨拶を寄せていただきました。



中央大学杉並高等学校を後にするのは2度目になります。10期生高校3年の卒業の日、たくさんの友達と泣きながら楽しかった高校生活に別れを告げ、新しく始まる大学生活への期待と夢に胸を膨らませて中杉の正門を出た日。そして今回、40年近く教師として勤めた中杉の正門を最後に出る日、私は何を思うのでしょうか。

「もし教師になるような事があるなら、中杉の先生になりたい。」教員免許を取った時にそう感じたのは、それほど中杉が好きで、高校生活を思いきり全力で疾走できたからだったと思います。中杉の先生になる事が決まった日、生徒達にも同じように高校生活を満喫して、楽しい思い出いっぱいにして欲しくて、彼らを支えられるように努力していこうと決めました。大学生になった卒業生たちが「先生の授業受けたから、大学でも英語は大丈夫。同じように勉強頑張っているよ。」そう言ってくれるのが嬉しくて、英語の力がしっかりつくような授業をしよう！と自分も勉強し続けることを決めました。そんな新任教師の志を多くの局面で支えてくれて、私を「教師」に育ててくれたのは生徒達でした。同じ生徒は一人としていない。変わらない生徒は一人もいない。毎年違う生徒と向き合い、時に一緒に考え悩み、抱き合って笑い涙し、時にただ遠くからその涙や笑顔を見つめ、人は変われるんだという大きな希望をもらい、私は彼らと一緒に成長させてもらっていたように思います。

自分をダメだ、最低だと決めつけていた子。「勉強がわかるようになりたい、できるようになりたい」と言った子。成績1番を取っても「私はいい子なんかじゃない」と泣いた子。何をどうしたらいいのかわからなくてただ窓の外を見つめていた子。先生というものに不信感しか持っていなかった子。問題ない良い子と言われていた問題をいっぱい抱えた子。一人一人まったく違った生徒達。私は最初から「先生」だったわけではなくて、私に向かって「先生」と手を伸ばしてくれるたくさんの生徒達の手を取るたびに、彼らが自分の決断をして成長するのを見るたびに、彼らに「先生」へと育てられてきていたのです。本当にたくさんの奇蹟を見てきました。生徒たちは、驚くほど素晴らしい奇蹟を生む人たちでした。

そして、この「人」と向き合う「教師」という、時間もエネルギーも体力も要る仕事を続ける事ができたのは何よりも私の両親や夫や娘、家族みんなの支えと理解があったからだと心から感謝しています。家族の思いやりと協力の気持ちを常に感じながら仕事のできたことを本当に幸せだったと思っています。

「中杉の教師」というチャンスをいただき、たくさんの先輩、後輩の先生方の力をお借りし、驚くほどたくさんの奇蹟を見せてくれた生徒たちに出逢うことができた幸せと誇りをかみしめながら、今春3月中杉の正門を、胸を張って出ていきたいと思います。長い間ありがとうございました。

次年度の予定

2022年度の年間行事予定表は、終業式に配布したとおりです。4月20日の一斉健康診断・内科検診と、4月23日の学級保護者会は、学年ごとに時差をつけて開始します。
※登下校時刻・開始時刻は現段階での予定です。変更になる場合もありますのでご注意ください。

【一斉健康診断・内科検診 4月20日（水）】



学年ごとに時差をつけての登下校となります。この日のクラブ活動は行いません（校内で昼食も摂りません）。

1年 8:40～13:00 **2年** 11:45～15:30 **3年** 9:25～12:50 の予定です。

【学級保護者会 4月23日（土）】



学年ごとに開始時刻が異なります。クラス代表委員の方を2名選出しますので、ぜひご協力をお願いいたします。

1年 13:00開始 **2年** 13:30開始 **3年** 12:30開始（体育館での集まり有） の予定です。

卒業生進路(57期生)

2021年度進学・中央大学学部別推薦者数			
学部	学科・専攻・コース		決定人数
法学部	法律学科		61
	国際企業関係法学科		12
	政治学科		25
経済学部	経済学科		29
	経済情報システム学科		8
	国際経済学科		19
	公共・環境経済学科		9
商学部	経営学科	フレックス・コース	16
		フレックス Plus1・コース	3
	会計学科	フレックス・コース	16
		フレックス Plus1・コース	3
	国際マーケティング学科	フレックス・コース	16
		フレックス Plus1・コース	3
	金融学科	フレックス・コース	5
		フレックス Plus1・コース	2
理工学部	数学科		0
	物理学科		2
	都市環境学科		5
	精密機械工学科		5
	電気電子情報通信工学科		3
	応用化学科		5
	ビジネスデータサイエンス学科		4
	情報工学科		5
	生命科学科		1
	人間総合理工学科		2
文学部	人文社会学科	国文学専攻	4
		英語文学文化専攻	3
		ドイツ語文学文化専攻	3
		フランス語文学文化専攻	1
		中国言語文化専攻	2
		日本史学専攻	3
		東洋史学専攻	0
		西洋史学専攻	1
		哲学専攻	3
		社会学専攻	2
		社会情報学専攻	3
		教育学専攻	3
		心理学専攻	3
学びのパスポートプログラム	2		
総合政策学部	政策科学科		10
	国際政策文化学科		10
国際経営学部	国際経営学科		7
国際情報学部	国際情報学科		8

【国公立大学】

東京外国語大学
東京工業大学
東京農工大学
横浜国立大学

言語文化学部言語文化学科 (1名)
物質理工学院 (1名)
工学部生命工学科 (1名)
経営学部経営学科 (1名)
理工学部 (1名)

【私立大学】

神奈川大学
慶応義塾大学

経営学部 (1名)
学門E (1名)
文学部 (1名)
法学部法律学科 (1名)
医学部医学科 (1名)
建築学部 sa コース (1名)
他、1名合格

国際医療福祉大学
芝浦工業大学

外国語学部イパニテ語学科 (1名)
外国語学部英語学科 (1名)
総合グローバル学部総合グローバル学科 (2名)

上智大学

文学部新聞学科 (1名)
法学部法律学科 (1名)
法学部地球環境法学科 (1名)
理工学部機能創造理工学科 (1名)
理工学部情報理工学科 (1名)

昭和大学

医学部医学科 (1名)
商学部経営学科 (1名) ※一般で受験
医学部医学科 (1名)
家政学部児童学科 (1名)
経営学部国際ビジネス経営学科 (1名)

中央大学

工学部建築学科 (1名)
工学部機械工学科 (1名)
理学部第一部応用化学科 (1名)
理学部第一部数学科 (1名)
理工学部建築学科 (1名)
理工学部機械工学科 (1名)

東京医科大学

理工学部情報科学科 (1名)
薬学部薬学科 (1名)
医学部医学科 (1名)
経営学部 (1名)

東京家政大学

情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科 (1名)
理工学部応用化学科 (1名)
経済学部経営学科 (1名)
社会科学部社会科学科 (1名)
人間科学部人間情報学科 (1名)
先進理工学部応用化学科 (1名)

東京理科大学

東京薬科大学

日本医科大学

明治大学

明治学院大学

早稲田大学

(2022年3月31日現在の合格報告状況、過年度生含む)

事務室より

春休み中の取扱時間は、平日 9:00～17:00(昼休み:12:00～13:00)、土曜日 9:00～12:00 です。

図書室より

春休み中の利用可能時間は平日の 9:00～17:00 です。

春休み中の土曜日は全て閉室です。

未返却本がある人は、必ず返却して下さい。



保健室より

春休み中の開室時間は平日(9:00～17:00)&土曜日(9:00～12:00)です。気になることがあれば、お電話を下さい。

【編集部より】一年間のご愛読感謝いたします。来年度もどうぞよろしくお祈りします。
(小泉・池田)